



写真提供 橋本敏男氏

2025年度

兵庫県森林動物研究センターシンポジウム

野生動物の保全と管理の最前線

2026年

2月22日(日)

兵庫県では2007年の森林動物研究センター設立以来、
野生動物管理の3つの概念「個体数管理」、「生息地管理」
「被害管理」を科学的な研究結果に基づいて実践してきました。

本年度のシンポジウムでは、クマ・サル・シカなどの
近年分布拡大・密度増加をしている野生動物の問題点を
紹介いたします。そのうえで、様々な課題解決に向けた
今後の挑戦を提示したいと思います。

13:00 - 15:30
オンライン開催

事前申込制・参加費無料





2025年度
兵庫県
森林動物研究センター
シンポジウム

野生動物の保全と管理の最前線

プログラム

2026年

2月22日(日)

13:00 - 15:30

13:00 開会・趣旨説明

梶 光一 森林動物研究センター所長 / 東京農工大学 名誉教授

研究発表

13:10 都市に侵出する野生動物たち

栗山 武夫 森林動物研究センター主任研究員／兵庫県立大学准教授

13:30 野生動物オスの長距離移動

— バイオロギングGPSで見た長距離移動

森光 由樹 森林動物研究センター主任研究員／兵庫県立大学准教授

13:50 クマは繁殖力が弱いってホント？

横山 真弓 森林動物研究センター研究部長／兵庫県立大学教授

14:10 クマ出没対応体制のちがい・その影響

山端 直人 森林動物研究センター主任研究員／兵庫県立大学教授

休憩 15分

14:45 質疑応答

15:20 コメント・講評

林 良博 森林動物研究センター名誉所長 / 国立科学博物館 顧問